



2026年6月2日

各位

会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ  
代表者名 取締役 代表執行役 CEO 松山 達  
(コード番号 6464 東証プライム)  
問合せ先 IRディレクター 原 あす香  
(TEL 06-6224-0193)

## 組織変更に伴う人員削減等の合理化による損失計上について

当社は、本日開催の取締役会において、組織変更を決議しました。これに伴って人員削減等の合理化を図る見込みですので、下記の通り、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 組織変更の目的と人員削減等の合理化を図る理由

当社では、「精密加工の力で世界を動かす」というパーパス（存在意義）のもと、現在進めている中期経営計画 2025-2029 において、経営管理体制の強化および各種構造改革を行っております。今回の組織変更は、その一環として、組織構造をシンプルにすることで管理職層を削減し、経営の機動性を高めることを狙いとしています。

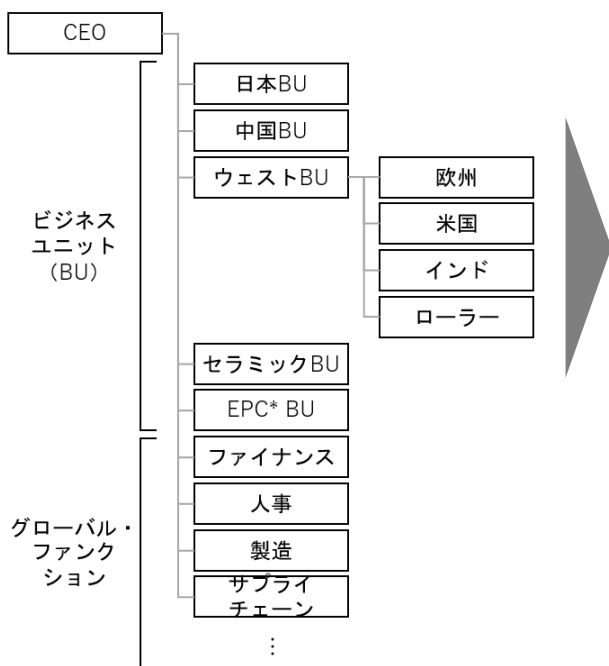
当社は、これまでお客様の地域最適化ニーズに迅速に対応するため、地域別・製品別に事業をビジネスユニット（BU）として管理する BU 制度を採用して参りました。しかしながら、昨今ではお客様ニーズはよりグローバル最適へ移行される傾向となっています。また、現行制度では、各 BU 内に人事・総務・経理・営業・製造・調達といった機能を有するため、それぞれの BU が独立した子会社のようになり、組織のサイロ化による意思決定の分断や複雑な組織構造によるコミュニケーションや対応の遅れなど、一部で構造上の非効率が見られておりました。

このため、今回の組織変更では、BU 制度を廃止し、機能を共通化した一体運営の組織へ変更することに伴い、マネジメントコストの最適化と合わせ、迅速に全体最適を目指せる体制を構築します。今後は、営業・マーケティング、製造・サプライチェーン、ファイナンス、人事を4つのコア機能（ファンクション）として、これらのファンクションヘッドと CEO で経営の舵取りをして参ります。経営陣はこれまでの BU 長を含めた 12 名体制から 5 名体制へ適正化し、今回の組織変更に伴って不要となる上級管理職および管理職の廃止によりコストを削減します。

#### 2. 組織変更の内容

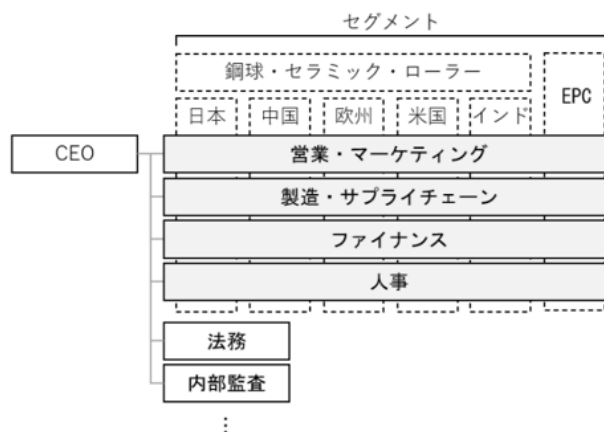
ビジネスユニット制度（地域別・製品別にビジネスユニットとして事業管理する制度）を廃止し機能（ファンクション）別の組織体制に変更します。

【変更前】



\* 高機能プラスチックコンポーネント

【変更後】



3. 本組織変更のねらい

- 1) 販管費の削減：重複機能を解消し、体制のスリム化により管理コストを低減
- 2) 経営判断の迅速化：組織のレイヤーを減らし、市場やお客様への対応を加速
- 3) お客様ニーズへの対応：グローバルネットワークを活用し、最適な地域で生産と供給を実現
- 4) 調達とサプライチェーンの効率化：原材料のグローバル調達最適化と購買集約の更なる推進
- 5) 製造・技術・品質の標準化：ベストプラクティスや人材の共有により、グローバルでの業務効率化を一層促進

4. 組織変更の実施時期

2026年6月8日（予定）

5. 組織変更に伴う人員削減等の合理化

本組織変更による役職廃止等に伴う人員削減等から、当期に約5億円の費用を見込みます。

- 1) 対象者：主に本組織変更により役職が廃止となる上級管理職および管理職
- 2) 対象人数：約30名
- 3) 退職時期：2026年12月末までに順次

6. 主な人事異動（2026年6月8日付）

氏名	新役職	現役職
菅原 美雄	チーフコマースオフィサー（CCO）注1	ウェストBUプレジデント
小寺 由記	チーフオペレーションオフィサー（COO）注2	チーフサプライチェーンオフィサー

注1 営業・マーケティングを統括

注2 製造・サプライチェーンを統括

## 7. 連結業績に与える影響

本組織変更に伴って当期に発生が見込まれる費用 5 億円は、本組織変更に伴って発生を見込む当期のコスト削減効果約 5 億円と相殺され、2026 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上